

令和2年度

第3号

荻窪中学校学校便り

令和2年7月15日発行

挨拶が響く学校に

副校長 池田和幸

学校が再開して1か月が過ぎました。ようやく日々のリズムが整い、落ち着いた学校生活を送っている生徒たちの様子が見られています。この時期は夏休み直前で1学期のまとめを行っている頃ですが、今年は来週に控えた定期考査に向けて、およそ1ヶ月遅れの定期試験前の時期となりました。暑くてじめじめした日も多く、体調を崩しやすい時期ですが、栄養と睡眠を十分にとり、無理をせずに万全の体調で試験に臨めるようご家庭でも子供たちへのサポートをお願いいたします。

本校に赴任して3ヶ月が過ぎ、ようやく生徒と言葉を交わす機会が多くなってまいりました。顔を合わせる度に、明るい声で「おはようございます」「こんにちは」と挨拶をする生徒の姿を見ると、とても心が温かくなります。マスクで顔が覆われているため、顔や名前の判別がとても難しいのですが、少しずつ生徒の様子がわかるようになってきました。先生方から、「マスクで顔が覆われていると、子供たちの様子がとらえにくい」との話を聞きました。「目は口程に物を言う」と言いますが、顔全体で作り出す表情が、人ととのコミュニケーションにとっていかに大切なもののなかということを、改めて感じています。そして、表情がマスクによってわかりにくくなり、コミュニケーションが希薄になるからこそ、声ではっきりと挨拶していくことの大切さが改めて浮き彫りになっているのではないかと考えます。

挨拶の言葉の成り立ちを考えていくと、「おはようございます」は「お早うから、ご苦労様でございます」というねぎらいの言葉が略されたそうです。「こんにちは」は「今日はご機嫌いかがですか」などの様子をうかがう言葉が略され、「こんばんは」は「今晚は良い晩ですね」などの言葉が略されて挨拶の言葉となっていったそうです。余談ですが、仙台に住んでいた頃、「おばんでございます」という東北地方の言い回しは、丁寧な言い回しを使う場面では「こんばんは」よりも使いやすいと思ったことがありました。同じような語源だと思いますが、言葉の変化の仕方に文化があるのだと感じました。別れの挨拶の「さようなら」は、日本語独特の語源があるといいます。元々は「左様ならば」という文をつなぐ言葉から使われるようになったそうです。英語などのように諸外国の別れの挨拶は、幸運や再会を願う言葉が多く、日本語のように文をつなぐ言葉が別れの言葉になったのはとても珍しいそうです。普段何気なく使っている挨拶の言葉にも、文化や伝統が隠れています。私たちが受け継いできた言葉の意味に注目することで、挨拶の意味をもう一度考えることができるのではないでしょうか。

挨拶は礼儀の一つです。礼儀作法を知らなければ、礼儀知らずとして悪い印象を与えててしまうことがあります。社会の一員として生きる上で、礼儀作法を身につけきちんととした立ち居振る舞いをすることは大切なことです。しかし、意味を知らずに行っても、そこには心がありません。挨拶も、ただ反射的に言葉を発するのではなく、その言葉に思いをのせることができなければ、意味のない言葉が響くだけとなるでしょう。マスクをして人と会うようになったこの現状の中で、挨拶の意味をもう一度考え方直し、挨拶から始まるコミュニケーションについて見直す機会にしていければと思います。お互いに心の通った挨拶を交わし、これからも一層心地よい挨拶が響く学校にしていきたいと考えています。

部活動再開



6月15日（月）より、部活動を段階的に再開しました。久しぶりの部活動で、充実した表情で下校する生徒の姿がありました。



6月29日（月）からは、新入生の仮入部期間が始まり、2年生に新入部員が入ってきたことで、上級生としての自覚が高まり、一つ成長した様子を感じました。

現在は定期考查前の部活動停止期間中ですが、試験後から1年生の正式入部が出揃います。熱中症、感染症予防に配慮しながら、本格的に活動が始まっています。

生徒総会



7月3日（金）前期生徒総会が実施されました。今回は放送で実施することになりました。生徒は教室で議案書に目を通しながら参加する形となりました。学校再開から、短期間での準備、放送での実施といつもとは違う形に戸惑いも多かったと思いますが、生徒会役員と議長の皆さんには、スムーズに議事が進行するように、事前の準備を整え本番に臨んでいました。議事の承認は、各学年の廊下に待機した生徒が、教室の様子をトランシーバで報告することで行いました。放送ブース内の議長・副議長にスムーズに状況を伝達しており、チームワークが発揮されていました。

土曜授業

7月11日(土)は、5校時までの土曜授業となりました。梅雨空の中でも、生徒は集中して取り組んでいる様子が印象的でした。給食ありの土曜授業は、2学期も9月・10月・11月に予定されています。今年度は授業時数確保のため、例年よりも多くの土曜授業が設定されています。生徒の体調管理等、お手数をおかけすることになりますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。



「荻中の基本ルール」一部変更について

「荻中の基本ルール」を、7月11日より一部変更させていただきました。

【服装・頭髪について】

靴下は、男女共に白・黒・紺・灰色。華美ではなく、くるぶしが隠れるもの。

儀式も同様とする（ワンポイントは可とする）。

となりましたので、お知らせいたします。

杉並区教育委員会より、オンラインホームページの利用手続きについてというプリントを配布させていただきました。プリントの内容をご確認いただき、同意書の提出を7月22日(水)までにお願いいたします。

また、タブレット端末の貸出を申し込まれた方につきましては、速やかに貸し出しができるよう、準備を進めていると教育委員会より連絡がありました。

コロナウィルス感染症につきましては、感染の拡大傾向が続き、予断の許さない状況が続いている。学校としても不測の事態にも対応できるようできる限りの準備をしていきたいと思います。引き続きご協力ををお願いいたします。

今月の玄関アート



令和2年度修学旅行の日程の変更について

6月の学校再開時より新型コロナウイルスの感染状況や修学旅行予定先である関西方面の状況の推移を見て参りました。東京都内の感染状況は大きな改善に至らず、都内より遠隔地への訪問が懸念される状況も継続しております。このような段階で、9月3日（木）から実施予定の修学旅行において、充分な感染回避と感染予防の観点から、現状において実施していく状況にはないと判断し、9月の実施を延期し令和3年3月に実施する日程に変更することといたしました。

当初予定：令和2年9月3日（木）～9月5日（土）

変更後：令和3年3月14日（日）～3月16日（火）

まずは上記の日程に変更し、今後の推移を見ていくことといたしました。

新型コロナウイルス感染が未だ懸念されております。保護者の皆様におかれましては、今後とも感染予防と共に今後の本校教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

登下校中の交通安全について

女子大通り（都道113号線）を南側に渡って通学する生徒に、登下校中の安全確保のため、横断歩道を渡って登下校するよう呼びかけを行っています。少し遠回りになっても、安全のために通学路を通り、横断歩道を渡るようにご家庭でもお声かけください。

8月の主な行事予定

8月 1日（土）	土曜授業（給食なし）
8月 3日（月）	三者面談
8月 4日（火）	三者面談
8月 5日（水）	三者面談
8月 6日（木）	三者面談
8月 7日（金）	三者面談
8月 8日（土）	土曜授業 安全指導 大掃除 終業式
8月 9日（日）	夏季休業日（始）
8月 11日（火）～8月14日（金）	学校閉庁日
8月 23日（日）	夏季休業日（終）
8月 24日（月）	始業式
8月 26日（水）	内科検診（3年） 専門委員会 評議執行委員会
8月 31日（月）	生徒会朝会

夏季休業日中における
学校閉庁日について
8月11日（火）～14日（金）
上記の期間は、原則として門を閉じ、教職員がおりません。
したがって、電話連絡も通じません。
緊急の場合は、下記の緊急連絡先へご連絡ください。
【緊急連絡先】
済美教育センター 教育SAT
03-3311-0023